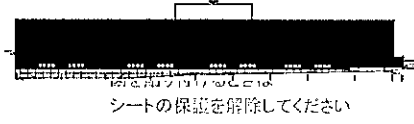


# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	小野建株式会社 京都営業所 新築	階数	地上1F
建設地	京都府八幡市上奈良小端21の1、2	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	6人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,845時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2022年4月8日
敷地面積	4,667㎡	作成者	北谷 幸一
建築面積	2,277㎡	確認日	2022年4月8日
延床面積	2,215㎡	確認者	北谷 幸一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.7</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p> <p>環境品質 G 環境負荷 L</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み #DIV/0! ③上記②以外の #DIV/0! ④上記+ #DIV/0!</p> <p>46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・㎡)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.4

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 0.0	Q2のスコア = 3.3	Q3のスコア = 1.7
音環境: N.A., 温熱環境: N.A., 光・視環境: N.A., 空気質環境: N.A.	機能性: N.A., 耐用性: 3.0, 対応性: 3.6	生物環境: 1.0, まちなみ: 2.0, 地域性: 2.0

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 0.0	LR2のスコア = 3.2	LR3のスコア = 3.1
建物外皮の: N.A., 自然エネ: N.A., 設備システ: N.A., 効率的: N.A.	水資源: 3.0, 非再生材料の: 3.0, 汚染物質: 3.0	地球温暖化: N.A., 地域環境: 3.0, 周辺環境: 3.0

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>京都府八幡市に建つ平屋建ての工場である。敷地内にはできる限りの緑化を行い、敷地内の暑熱環境に配慮した。また、節水機器を採用するなど、資源保護にも配慮した計画とした。</p>		<p>その他</p> <p>特になし。</p>
<p>Q1 室内環境</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>配管には耐用年数の長い材料を用いるなど部材の耐用性に配慮した計画とした。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地内には緑化を設け、敷地内の暑熱環境の緩和に配慮した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水器具や節水型便器を採用し水資源の保護に努めた。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>大気汚染防止に配慮し燃焼機器を使用しない計画とした。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される